

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス poco a poco			
○保護者評価実施期間	2025 年 10 月 14 日		～	2025 年 11 月 14 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	11
○従業者評価実施期間	2025 年 10 月 14 日		～	2025 年 11 月 14 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025 年 12 月 15 日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多国籍な利用児童の受け入れを行っており、その中で、国籍・文化・言語・習慣などの違いを子どもたちが体感し、行動し、ともにかかわりの中で成長していけること	バイリンガルのスタッフや多言語の子どもたちと一緒にゲームをする、英語やポルトガル語の動画を一緒に見るなどの時間を作っている	多言語で「文字」に触れられるようなツールを使って子どもたちが一緒に遊べる時間を作りたいと思う
2	子どもたちがいろいろな経験を通して、学び、成長ができるプログラムがあること	長期休みは県営住宅の集会所で、子どもたちが主体的に遊びを考え、職員も参加している。遊びに参加できない子に対しては個別に対応する。使用後は全員で片付け、清掃を行ってデイに帰ることを教え、習慣づける 昼食で職員とパスタやデザートゼリーの作りなど企画して実施している	外部施設へのお出かけの実施を保護者が希望しているので子どもたちにあった施設へのお出かけを企画していきたい

3	バイリンガルのスタッフが常勤しており、保護者の悩み相談に適宜対応できる	デイを利用する際の契約書やデイからのお知らせを、利用児童の保護者が使う言語に翻訳したものを用意している 相談事や連絡等も同様に保護者の言語で対応し、互いの意思や意見に齟齬のないよう努めている	
---	-------------------------------------	--	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者が多国籍であるが故、研修会や保護者会、講座の実施、が非常に難しい	保護者会は担当者会議に準じて実施可能だと思われるが。研修会や講座は多言語での実施となると複数の通訳が必要となり、費用面、人選等で負担が大きい。また、保護者の時間管理の意識の違いや仕事との日程や時間の調整など実施のためのハードルがかなり高い	どのような内容で、どう実施したらよいかを、市内の多国籍の児童を受け入れている放課後デイと情報交換する、市の多文化共生国際課の通訳に相談する等、具体的な対応策を考えてみたい
2			
3			